

ニッパツの経営ビジョン

中期経営計画

当社は、2005年度からスタートした中期経営計画を社内外に周知し、その目標達成に向け事業活動を行っています。

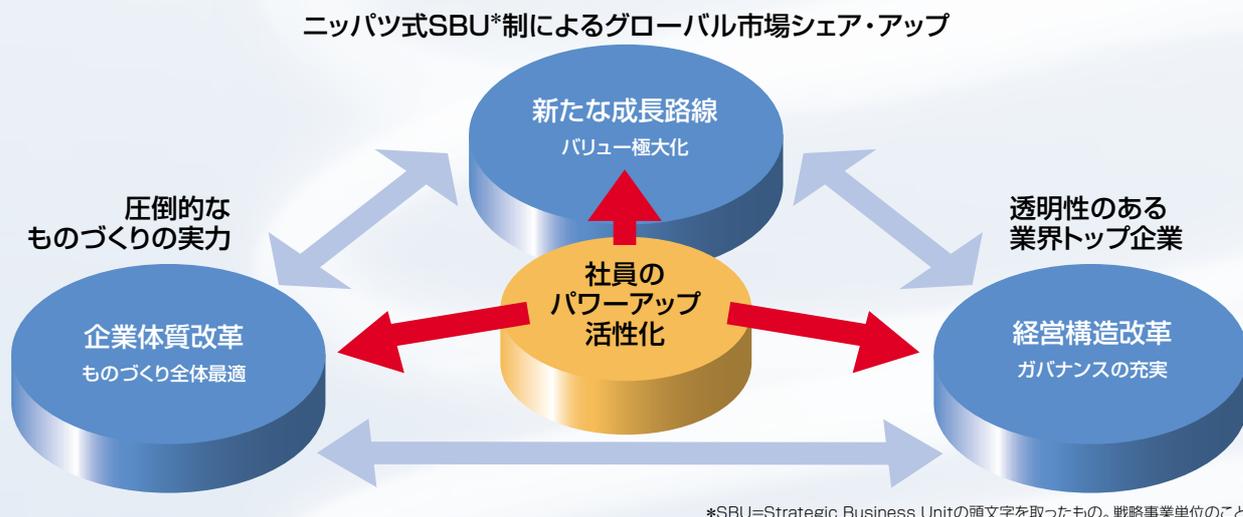
中期経営計画のねらいと3つの施策

前回の中期経営計画（2004年度を最終年度とする3カ年計画）は、厳しい事業環境を想定したスリムな体質づくりがメインでしたが、今回の中期経営計画では、「さらに上、目指そう。Upward07」をキャッチフレーズに、慎重ながらも新たな拡大をめざし、そのための経営資源の配分を適切に行うことが重要と考えています。

今回の中期経営計画では、3つの大きな基本方針を

掲げています。第1は「新たな成長路線」です。2004年度に対して16%増の連結売上高を目標とします。第2は「企業体質改革」です。ニッパツグループのものづくりの高度化をさらに進め、永続的に発展する企業グループをめざします。第3は「経営構造改革」です。コーポレート・ガバナンス（▶P21）の充実を通して、本格的なCSRの推進が始まっています。

中期経営計画概念図



2004年度環境・社会性活動ハイライト

横浜事業所にコージェネ設備を導入

横浜事業所のコージェネレーション設備が完成し、2004年12月から稼働を開始しました。クリーンな天然ガスを使用し、自社での発電と廃熱利用により、いっそうの省エネルギーが進みます。原油換算で10%の省エネルギーを見込んでいるほか、CO₂排出量も15%削減できます。また排熱は、シートの生産、懸架ばねの塗装処理、冷温水の供給、冷暖房などに使用します。



稼働を開始したコージェネレーション設備



12月7日、当社幹部と工事関係者が出席して行われた竣工式

厚木工場が「かながわ地球環境賞」を受賞

厚木工場が「平成16年度かながわ地球環境賞」を受賞しました。一昨年の横浜事業所に続く受賞で、ISO14001の認証取得、ゼロエミッション活動、省エネルギー活動、CO₂排出量の削減などの取り組みが評価されたものです。

2004年12月19日、横浜市技能文化会館で、神奈川県とかながわ地球環境保全推進会議の主催により表彰式が行われました。当社は厚木工場を代表して荒木工場長が表彰状を受け取りました。



表彰を受ける荒木工場長(左)

経営構造改革とステークホルダーへの姿勢

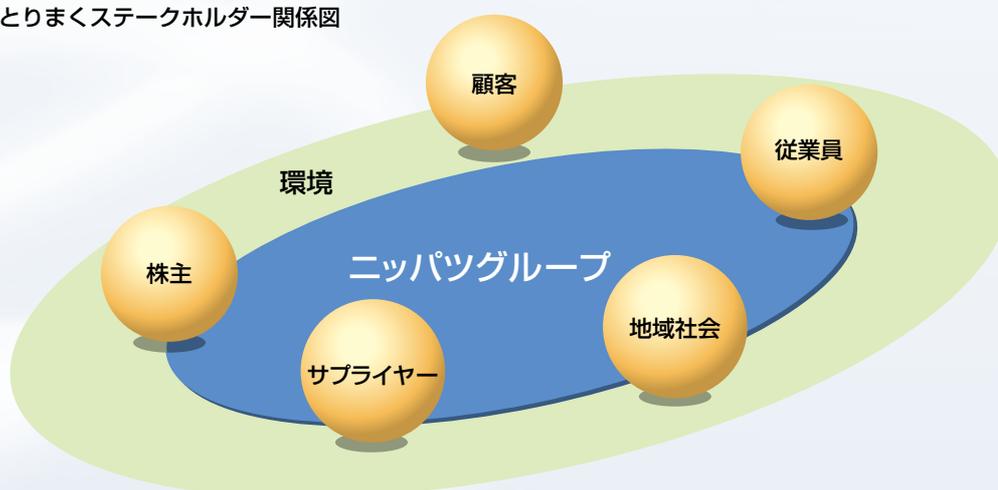
当社はグループのガバナンス体制を再構築し、コンプライアンスを重視した経営をめざします。

まず、コーポレート・ガバナンスの見直しとして、執行役員制を導入しました（2005年6月29日より）。第2に、コンプライアンス重視の経営として、CSRの視点に立ち、グローバルに広がるステークホルダーの方々すべてから受け入れられる企業行動をめざします。第3に、リスクマネジメントの強化として、リスクの

正しい把握と管理を行います。第4に、本格的IRの実施として、企業価値向上に向けたグループとしての情報発信・管理を行います。

また、株主だけでなく、顧客、サプライヤー、従業員、地域社会などのステークホルダーの方々に対して、当社関連情報をさらに速やかに開示し、良好な関係が維持できるよう努力していきます。

■ニッパツをとりまくステークホルダー関係図



偽造を判別できるブランドラベルを開発

ブランドネームや品質表示用に縫い付け、偽造防止効果の高い繊維ラベル「アルタテックス」を、大手合成繊維メーカーのクラレと共同で開発し、2月に発売しました。アルタテックスはビュアにより真偽判定が手軽にできることが特長です。ブランド保護やニセモノ対策が必要な洋服、バッグ、靴、ぬいぐるみなどの衣料・雑貨での使用が見込まれます。



写真左のように、肉眼で見えるたて線部が、専用ビュアでのぞくと、写真右のように別の色に変化して見える



カラー、サイズ、形状などを自由に選べるアルタテックスのバリエーション

「第1回PRTR大賞」で奨励賞を受賞

1月31日、社団法人環境情報科学センター主催の「平成16年度PRTR大賞 企業における化学物質管理とリスクコミュニケーションに関する表彰」の表彰式とシンポジウムが東京都内のホテルで開催され、当社は奨励賞を受賞しました。

PRTR大賞は今年度創設され、企業の化学物質のデータ管理や地域住民への理解促進活動の優れた事例を表彰するものです。当社は研究開発部門を中心に、化学物質の管理（▶P19）に努めており、日頃の成果が認められました。



表彰を受ける当社安全環境部の徳永さん(左)